



「睡眠と冬眠：二つの「眠り」の解明と操作が拓く 新世代医療の展開」

柳沢 正史 PM

(筑波大学・教授)

研究プロジェクト概要

未だ謎に包まれた「睡眠と冬眠」の神経生理学的な機能や制御機構を解明することで、睡眠を人為的にコントロールする技術やヒトの人工冬眠を可能とする技術を開発し、医療への応用を目指します。また、人工冬眠は人類の夢である宇宙進出を可能にする
と期待されます。



2040年までに期待される ブレイクスルー

- ・睡眠時間セットポイント調整技術の実用化
- ・睡眠負債によって発症・重症化する疾患の予防技術の実用化
- ・睡眠ビッグデータによる疾患リスク予測と予防技術
- ・災害対応睡眠メディカルネットワークの全国展開
- ・人工冬眠技術の実用化